

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和2

公表:平成31年2月13日

事業所名 支援センター はーとらいふ

	チェック項目	はい	どちらか しらない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		3		段ボール部屋の活用	学習に集中できない児童に対して、必要時、面談室を活用していくように調整中
	2 職員の配置数は適切である			3		専門職不在ではあるが、次年度体制が整う予定 保育士 H 31・4起用
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3			駐車場から玄関までスロープ、室内もフローリングの段差無し、一部にスポンジ製にマット使用	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	3			日々、業務の振り返りを行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1		アンケート結果を把握し、職員で共有業務改善につなげています。	今後も、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げたい
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			月1の会報等で公表	今後は、HPを開設予定。準備中
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3		今後検討していきたい
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			外部で受けた研修を内部研修にも取り入れている	継続していく
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			職員全員で、会議を行い、計画書作成に活かしている	児童発達管理者が不在の為、管理者が計画書を作成。次年度より、児童発達管理者業務管理者が作成
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3			職員1人1人が立案し、話し合いを行い進めている	地域の行事への参加も取り入れていく
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		3		児童の意見を取り入れ、活動に取り入れている	今後、プログラムの固定化していかないよう検討していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		休日・長期休暇に戸外活動を取り入れている	書式を作成し、記録に残すようにする
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	1		子供の状況に応じて作成している	個別活動と集団活動が、もっと分かりやすいように計画書を作成する
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			職員朝礼時に、保護者からの連絡事項、相談等の報告情報共有。役割分担の確認	継続していく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			支援記録を用い、情報を共有している	継続していく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			職員からの情報を収集し、当時の活動内容や、児童の様子、支援方法を職員と共有し、記録	継続していく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			職員間で話し合いを行い、児童の発達状況に応じ見直しを判断	児童発達管理責任者と職員で話し合い、見直しを判断していく
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児童発達管理責任者が不在の為、管理者と支援員が参加	管理者が、責任をもって行っている。次年度より児童発達管理責任者兼管理者が行う	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		送迎時に担任と情報を共有。学級便りは、コピーして保管。必要時学校での会議に参加	継続していく	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	2		該当児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			3	保護者、相談員からの情報にて共有	担当者会議を開き相互理解に動めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			3		該当児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			3	戸外活動時に関わられるように支援を行っている	放課後児童クラブや児童館との交流は出来てない。今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			連絡帳や送迎時に保護者へ報告。必要時、電話連絡個別面談を行っている	継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3			保護者からの個別相談時に支援を行っている	継続していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			利用契約時に、保護者が、理解しやすいように説明を行っている	理解できていない、保護者に対しては、再度説明を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			相談時は、保護者との時間調整を行い面談を行っている	継続していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			3	父母の会活動支援は、できる範囲内で行っている	保護者会の開催が出来ていないが、日程調整中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			苦情ボックスを設置している。相談や要望があった場合、その都度対応している	継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			月1回の会報を発行している	月間行事等を会報にて周知していく
	35	個人情報に十分注意している	3			職員へは、起用契約時に説明。誓約書を交わす	他機関との情報共有のため、保護者からの同意書をいただいているが、十分注意していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			連絡帳や送迎時を通じて、伝達している	継続していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			地域の方に協力していただき、ハローウインイベントの開催を行った	今後も、地域の方へ依頼を行い、調整中です
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			3	職員にマニュアルを周知している	周知していない保護者に対しては、保護者会にて説明を行うことで検討。今後は契約時に説明していくことも検討

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		年2回訓練を実施 消防署施設を利用	継続していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		全職員が研修を受けている	外部研修を伝達、内部研修、他事業所合同研修を継続したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		3	該当児なし	やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	該当児なし	保護者との情報協有で対応。医師の指示書に基づく対応を行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		事業所内のヒヤリハットの報告書を作成し、職員で共有を継続している	継続していく